

元パラリンピアン®の生き方に学ぶ

【松江清心養護学校】

ねらい

障がいのある先輩の生き方や考え方に触れ、自分自身の日常につなげる

いつ

令和元年 12 月 11 日 (水)

どこで

松江清心養護学校 体育館

だれが

児童生徒 (24 名)、教職員 (15 名) ほか

なにを

パラリンピックスポーツに関する講演
ボッチャの体験



概要

- ・パラリンピックの体験談を聴くことで、栄光の裏側に様々な苦悩があったことを知ると共に、障がい者スポーツの理念や価値を学ぶ。
- ・体育の単元 (球技) の一部で実施してきたボッチャについて、用具やルール、戦術などを詳しく教わり、実際に競技をしてみる。
- ・『チャレンジド (神様から試練を与えられてそれを克服する人たち)』の言葉の意味を知り、日常生活において様々なことに挑戦する意欲を高める。

車いすの向きや安定した投動作によってうまくねらいを定めましょう。



選手も見ている周りの人たちも、やればやるほど盛り上がりました。



アシスタントも重要で、入賞したら一緒にメダルを授与されます。



英語でジャッジ(コール)されると、本格的な感じがして気分が高まりました。

講師は、シドニーパラリンピック (陸上競技) の出場をはじめ、輝かしい成績を残されたパラリンピアンですが、それまでの苦悩や葛藤も赤裸々に語っていただきました。真剣な表情で聞きながら聴いたり、メモを取ったりする子供たちの姿が印象的でした。

ボッチャは、東京パラリンピックの競技としても注目を集めており、全国障害者スポーツ大会では三重大会 (令和3年) から正式種目となります。藤田氏は最後に、「そうした大会でぜひ再会しよう」とのメッセージを子供たちに残されました。